

雨巻山山行報告

【山行日】 2014年 12月 20日(土)
【集 合】 道の駅「しもつけ」P AM 7:00
【参加費】 マイカー2台 500円
【メンバー】 CL: 大西 SL 鈴木、石田、岩淵、
梶内、島田、谷口、田村、福田忠、藤原、渡辺
【コースタイム】 道の駅「しもつけ」P7:00＝
大川戸登山口P7:70/8:15→足尾山分岐 8:30
一斑: 足尾山沢コース 8:30→足尾山→御嶽山
→峠コース分岐 10:10 合流
二班: 足尾山尾根コース 8:30→御岳山分岐
9:10→峠コース分岐 9:55/10:10 合流
雨巻山 10:35/11:05→三登谷山 12:00→大川戸登山口P12:45/12:55＝道の駅「しもつけ」P13:45



今日の雨巻山は天気予報が芳しくなく、心配をしながら当日を迎えました。本日は入会希望の T 口さんが体験山行で参加するので、何とか雨が降らないよう祈りながら道の駅を出発しました。二台に分乗して登山口に着くと、すでに数台の車が止められていました。



登山口には簡易水洗トイレが3個あり、お互い交代で使いスムーズに準備をしました。今日は「益子町町民登山」があるとのことで、役場の方達が準備をしており、賑やかな山歩きになりそうです。駐車場にはイラストマップが用意されており、初めて参加の人に配り、ストレッチ体操を済ませ出発しました。二班が先に歩きだし、分岐で衣服調整をして沢・尾根コースに別れて行動しました。私達4人はゆっくりペースで分岐に着きこれからは尾根歩きになる。途中ベンチが用意されているので果物休憩をとりました。慌てる事はないと暢気な

4人は、たわいない話で笑声が絶えない。

しばらく行くと、峠コースとの分岐に着き、またもやベンチがあり誘惑をされました。

お菓子とお茶のゆっくり休憩をとり歩き出し聞き慣れた声に振り向くと何と！

45分のリードを詰められ、一斑の沢コースの面々の声に追われる羽目になってしまいました。

一斑は沢コースから登りました。小さな沢沿いに登りますが危険な箇所はありませんが、滑りやすいので慎重に登りました。清滝分岐を左に進み、急登を頑張ると足尾山の山頂に着きました。足尾山から少し下ると岩場の急登となり、本日のコースで一番の難所です。鎖やロープを頼りに、一步一步慎重に登ると御嶽山山頂に着きました。山頂には四角いベンチがあり、景色を楽しみながらリンゴをいただきました。体験参加の T 口さんの歩きを、後ろから見ながら歩きましたが、全く問題ありませんでした。



御嶽山から少し下って足尾山尾根コースを右に分け、尾根上を快適に歩き峠コース分岐を過ぎたところで二班の姿が目に入りました。一斑・二班の11名が、上手く合流をし雨巻山山頂を目指しました。

途中の“猪転げ坂”はいつも急降下で嫌だなと思いつつ下っていましたが、今日は逆コースなので、



きつい登りとなりました。ゆっくり登り詰め山頂に着いた時は一組のパーティーが食事をしていました。

ちょっと早いが私達も空いているうちに大きなテーブルに座り賑やかな昼食となりました。

いつもながら皆さんが持ち寄った御馳走に会話も弾み、美味しい昼食をいただきました。

丁度登って来た町民登山の役員方に、記念写真を撮っていただき三登谷山へ向かいました。

途中、益子町町民登山の参加者のグループに会い、道を譲りながら言葉を交わしました。

展望の良い場所で果物タイムをとり、登った事のある筑波山や加波山を眺めながら美味しく戴きました。三登谷山山頂はあまり展望がなく、薄っすら見える男体山や皇海山を確認しました。

もう一息で登山口、心配した雨にあわず途中では薄日が差す天気になり無事歩けました。

“誰のお蔭”と言う声が聞こえてきそうなくらいラッキーな登山日和でした。

今日は新しい仲間の参加で皆さん話が盛り上がり、とても楽しそうに歩いていました。

若い方が入ると、会が活性化しとても良いことだと感じました。



大西記

